

三溪だより

～心かがやき ともにのびる 三溪っ子～
めざせ あいさついっぱい えがおいっぱい 楽しい三溪小学校



三溪小学校キャラクター
サブローイックさん

発行：令和5年8月28日

判断力を育む防災教育をめざして

校長 宮武 紀子

夏休み初日の7月21日、小学生3名の水難事故という何とも痛ましいニュースが流れました。それから1週間後には、部活帰りの中学生の熱中症被害と、子どもたちの尊い命が奪われる事故が相次いだ夏休み幕開けとなりました。ご家庭にもメールを通して、子どもたちの安全な生活へのご支援・ご協力をお願いしたところですが、今は2年生の女兒が体育の学習後に意識を失い…という衝撃的なニュースが流れています。

豪雨による急な川の増水や連日の熱中症警戒アラートと、自然の猛威を感じ得ずにはられません。子どもたちを取り巻くここ数年の環境変化に、「大切な命をお預かりする重責」をひしひしと感じながら、学校経営に尽力する日々です。

さて、9月16日には、4年ぶりの「休日参観日」を設けています。新型コロナウイルス感染症がようやく5類移行となり、晴れて実施の運びとなりました。当日は人数制限を設けておりませんので、ご家族皆様でお子様の学習や活動の様子をご参観いただけたらと思います。参観後には「全校一斉防災学習」と「引き取り訓練」も併せて実施します。30年以内の発生確率が70～80%と言われる南海トラフ大地震。高松市の震度は最大6強とも言われています。壁や窓ガラスの破損や、固定されていない物の転倒や落下等、被災状況を想像すると、安全な避難は難しい状態にあります。大地震を想定した避難訓練では、通常「建物から出る」という認識のもと、運動場に避難するのが一般的です。しかしながら、本校は目の前に「三郎池」があるため、堤防決壊を視野に入れて避難しなければなりません。大地震の後、割れたガラスや落下物等を避けながら運動場に避難することさえ、危険を伴いますが、「もし避難の最中に余震が起こったら」と思うと、子どもたちを移動させること自体に恐怖を覚えます。さらにその後、堤防決壊からの避難となると、再度、校舎内に戻り3階まで上がることになるため、本校の場合は運動場には出ずに、教室内で安全姿勢を保持することが最善だと考えます。

このように、学校が置かれた環境に即した最善の避難の仕方を、まずは我々教員がしっかりと想定しておく。そして、そのノウハウを、訓練という実体験を通して子どもたちに体得させていきたいと思えます。訓練を通して子どもたちに身に付けさせるべき大切な力は、自分の命を守るための「状況に応じた判断力」だと捉えています。そのため、昨年度同様、2学期の避難訓練は一斉訓練とともに、事前周知なしの「抜き打ち訓練」をセットで実施する予定です。経験の積み重ねを通して、かけがえのない大切な命を自分自身で守ろうとする強い意識と確かな実践力を、子どもたちに育んでいきたいと思えます。

「心の交流事業」の取り組みを通して、子どもたちの相手意識が高揚していることが、先日実施のアンケート結果から窺えました。教師の指示がなくても、高学年の子どもたちが自然に低学年の子どもたちの手を引いて一緒に避難できるような、そんな相手を思い合う温かい姿が見られることも期待したいものです。

1学期は、始業前の体育館から、子どもたちの楽しそうな笑い声や、歌声が聞こえていました。「ときめき委員会」の子どもたちが、クイズやゲームを通して、全校生に楽しい時間を過ごしてもらおうと、自主的に企画・運営しているのです。「今回はこんなことが課題だったから、次回はそれを改善してより楽しんでもらえるようにしよう」などと事後の振り返りを次に生かすというやり方が、成功の秘訣なのでしょう。教科学習で身に付けた学び方が委員会でも発揮されており、子どもたちの学びと生活のつながりを実感します。その様子に感化されたのか、「私たちの委員会でも、全校生が楽しめるイベントをやりたい」という声が上がりはじめました。私の思い描く「子どもたち自身が創る、楽しい学校」が実現しつつあります。

相手意識に支えられた子どもたちの創意力、そして共に心と力を合わせて取り組もうとする協働性の発揮を通して、全校生が毎日楽しく学校に集える— そんな2学期にしていきたいと思えます。保護者の皆様にはよろしくご支援賜ります様、お願い致します。(令和5年8月22日執筆)

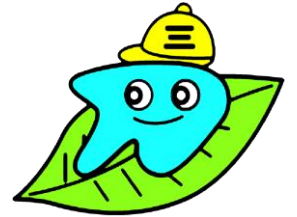


〈始業前に、異学年と「じゃんけん列車」を楽しむ子どもたち〉



9月の主な行事予定

- 1日(金)2学期始業式 / 4時間授業(1~4・6年) / 屋島集団宿泊学習1日目(5年)
 2日(土)屋島集団宿泊学習2日目(5年) 4日(月)4時間授業(1~4・6年) / 振替休業日(5年)
 5日(火)4時間授業 6日(水)4時間授業 / ララ号 7日(木)4時間授業
 8日(金)4時間授業 / 諸費引き落とし日 / 小児生活習慣病予防検診(4年)
 11日(月)「絵本大好き会」読み聞かせ(1年) / 放課後陸上練習開始 13日(水)なかよし活動
 14日(木)校内研究授業(6年3組) / 龍雲中学校職場体験
 15日(金)龍雲中学校職場体験 / 5時間授業 16日(土)学習参観日 18日(月)敬老の日
 19日(火)振替休業日 20日(水)心電図検査(4年) 23日(土)秋分の日
 25日(月)「絵本大好き会」読み聞かせ(2年) 26日(火)クラブ活動(4~6年)
 27日(水)ため池についての出前授業(4年) 28日(木)4時間授業



学校の窓 教育活動の様子を担当者が紹介するコーナーです。

足裏から健康を考えよう

左の写真の中で、どの足が健康な足でしょうか？

正解は一番左側です。他の2つは土ふまずがなかったり、指が浮いていたりして、理想的な足とは言えません。土ふまずがうまく形成されなかった場合には、体のゆがみ等の原因になったり、衝撃を受けやすくてたくさん歩くとすぐに疲れやすくなります。

新型コロナウイルス感染症流行の長期化による身体への影響は大きく、小中男女いずれも持久力の指標である20mシャトルランが過去最低でした。県教委は「日常的にマスクを着用する習慣で、激しい運動を控えてきた影響が考えられる」とし、全般的に体力が低下しています。

本校でも、外遊びや体育で転んでけがをする際に、カーブを曲がりきれず転んだり、転ぶ際に手をつけずに顔から転んだりする児童が多く見られ、体を動かす経験が少ないことによる運動不足や筋力のアンバランスさが目立ちます。

3学期に予定している学校保健委員会では講師を招き、運動をするための土台である子どもの足裏の健康について講話をいただく予定にしています。家族や友だちと楽しく活動していく中ですこやかな体をはぐくみ、子どもたちの運動習慣を身につけていくことが体力の向上につながると考えています。多くの方のご参加をお待ちしています。

(文責：保健主事)



----- 切り取り線 -----

通信欄

三溪だよりをお読みいただき有難うございます。私どもは地域の皆様や保護者の皆様と共に子どもたちを育てていきたいという願いをもっています。そこで、「三溪だより」をよりよい内容とするためにご意見やご感想をお待ちしております。ご近所のお子さんにお言付けいただいたり、正門郵便ポストにお入れいただけたら幸いです。個別に回答させていただくこともあろうかと思っておりますので、よろしければお名前をお書きください。どうぞよろしくお願い致します。

ご意見・ご感想

保護者・地域 お名前 ()